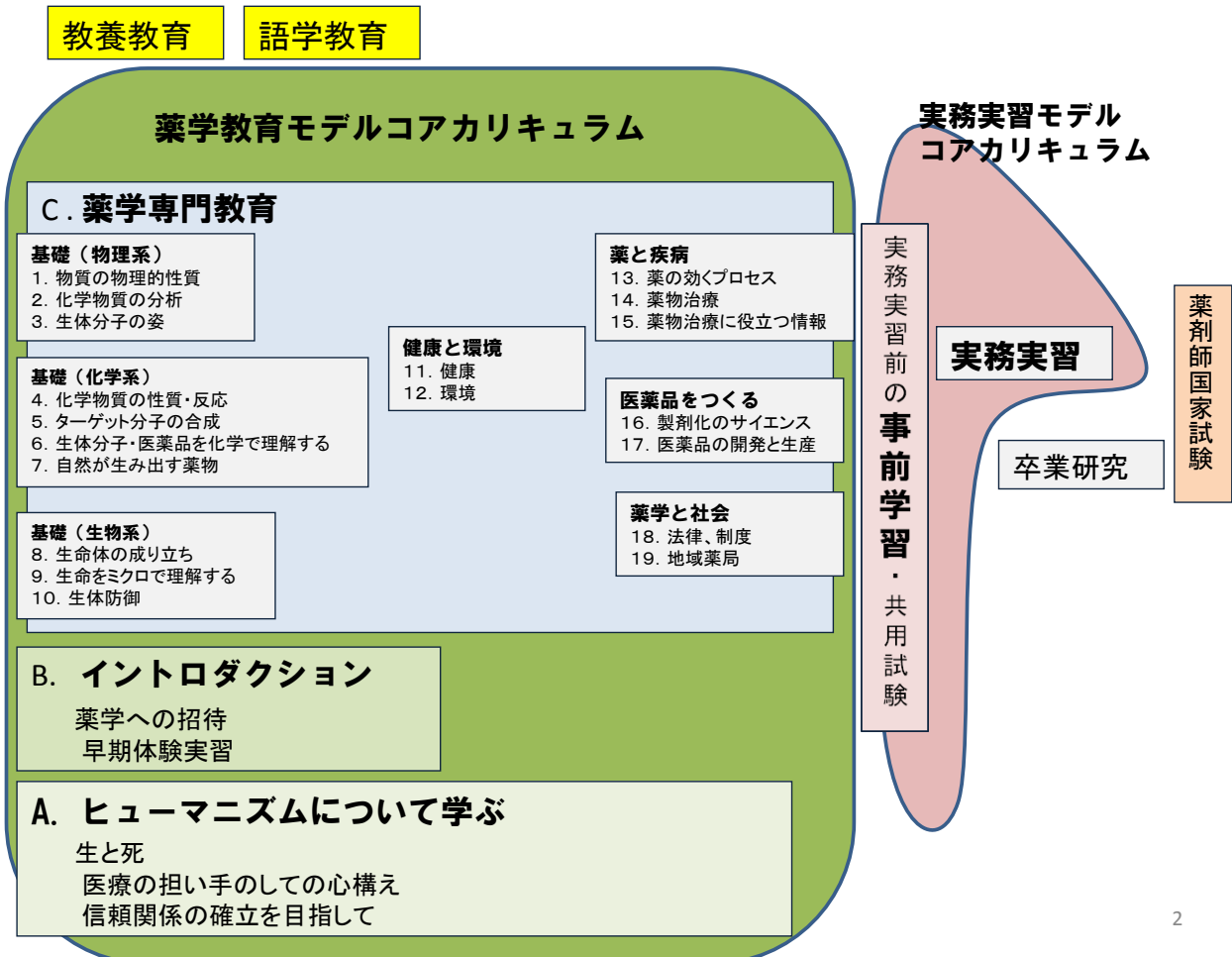


## 薬学教育モデルコアカリキュラムと実務実習モデルコアカリキュラム —作成の経緯・経過・現状—

- ・平成13年8月 私立薬科大学協会・薬剤師養成カリキュラム検討委員会から「薬学教育モデルカリキュラム」案提示
- ・平成13年9月 国公立大学薬学部長会議・教育部会 から「薬学教育モデルカリキュラム」案提示
- ・平成14年4月 薬学会・薬学教育カリキュラムを検討する協議会が「**薬学教育モデルコアカリキュラム**」をまとめる
- ・平成15年12月 文部科学省・薬学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議で「**実務実習モデルコアカリキュラム**」をまとめる
- ・平成16年 中教審・大学分科会で薬学教育年限6年への延長が決まる
- ・平成17年 各大学モデルコアカリを盛り込んで6年制設置申請
- ・平成18年 6年制発足
- ・平成19年 薬学教育評価機構が評価基準を策定
- ・平成21年 薬学共用試験センター 共用試験実施
- ・平成22年 厚労省 薬剤師国家試験 出題基準と範囲提示



# 薬と疾病

## C13 薬の効くプロセス

### 薬の作用と生体内運命

薬の作用  
薬の運命  
薬の副作用  
動物実験

### 薬の効き方II

ホルモンと薬  
消化器系に作用する薬  
腎に作用する薬  
血液・造血系に作用する薬  
代謝系に作用する薬  
炎症・アレルギーと薬  
化学構造

### 薬の効き方I

中枢神経系に作用する薬  
自律神経系に作用する薬  
知覚神経系・運動神経系に作用する薬  
循環系に作用する薬  
呼吸系に作用する薬  
化学構造

### 薬物の臓器への到達と消失

吸収  
分布  
代謝  
排泄  
相互作用

### 薬物動態の解析

薬動学  
TDM

3

## C14 薬物治療

### 体の変化を知る

症状  
症状と臨床検査値

### 疾患と薬物治療I

薬物治療の位置づけ  
心臓・血管系の疾患  
血液・血管系の疾患  
消化器系の疾患

### 疾患と薬物治療II

腎臓・尿路の疾患  
生殖器の疾患  
呼吸器・胸部の疾患  
内分泌系の疾患  
代謝性疾患  
神経・筋の疾患  
総合演習

### 疾患と薬物治療III

精神疾患  
耳鼻咽喉の疾患  
皮膚疾患  
眼疾患  
骨・関節疾患  
アレルギー・免疫疾患  
移植医療  
緩和ケアと長期療養

### 病原微生物・悪性新生物と戦う

感染症  
抗菌薬  
抗原虫・寄生虫薬  
抗真菌薬  
抗ウイルス薬  
抗菌薬の耐性と副作用  
悪性腫瘍の病態と治療  
抗悪性腫瘍薬  
抗悪性腫瘍薬の耐性と副作用

4

## C15 薬物治療に役立つ情報

### 医薬品情報

情報  
情報源  
収集・評価・加工・提供・管理  
データベース  
EBM

### 患者情報

情報と情報源  
収集・評価・管理

### テーラーメイド薬物治療を目指して

遺伝的素因  
年齢的素因  
生理的素因  
合併症  
投与計画

5

## 実務実習モデルコアカリキュラム

### (I) 実務実習事前学習

#### 1 事前実習を始めるにあたって

薬剤師業務 チーム医療 医薬分業

#### 2 処方せんと調剤

用法・用量 服薬指導 調剤室業務

#### 3 疑義照会

意義と根拠 疑義照会入門

#### 4 医薬品の供給と管理

安全性 特別な配慮を要する医薬品 製剤化  
注射剤と輸液 消毒薬

#### 5 リスクマネジメント

安全管理 副作用 リスクマネジメント

#### 6 服薬指導と患者情報

服薬指導に必要な技能・態度 患者情報の  
重要性 服薬指導

### (II) 病院実習

#### 1 病院調剤実践

業務の全体の流れ 計数・軽量調剤 服薬指導  
注射剤調剤安全対策

#### 2 医薬品を動かす・確保する

管理・供給・保存 特別な配慮を要する医薬品  
医薬品の採用・使用中止

#### 3 情報を正しく使う

病院での医薬品情報 情報の入手・評価・加工・提供

#### 4 ベッドサイドで学ぶ

病棟業務 医療チームへの参加 薬剤管理指  
導業務 処方支援への関与

#### 5 薬剤を造る・調べる

院内で調剤する製剤 薬物モニタリング  
中毒医療への貢献

#### 6 医療人としての薬剤師

### (III) 薬局実習

#### 1 薬局アイテムと管理

アイテムの流れ 薬局製剤 アイテムの管理・保存 特  
別な配慮を要する医薬品

#### 2 情報のアクセスと活用

心構え 情報の入手・加工 情報の提供

#### 3 薬局調剤実践

保険調剤業務 処方せん受付  
監査と疑義照会 計数・計量調剤 調剤  
監査 服薬指導 調剤録と処方せん保管  
と管理 調剤報酬 安全対策

#### 4 薬局カウンターで学ぶ

患者接遇 一般用医薬品・医療用具・健康食品

#### 5 地域で活躍する薬剤師

在宅医療 地域医療・地域福祉 災害  
時医療と薬剤師 地域保健

#### 6 薬局業務を総合的に学ぶ

6

## 国家試験における科目毎の問題数

科目	区分			出題数
	必須問題	一般問題		
		理論	実践	
物理・化学・生物	15	30	複合①15	60問
衛生	10	20	複合②10	40問
薬理	15	15	複合③10	40問
薬剤	15	15	複合④10	40問
病態・薬物治療	15	15	複合⑤10	40問
法規・制度・倫理	10	10	複合⑥10	30問
実務	10問		20 複合①②③④⑤⑥ 65	95問
出題数	90問	105問	150問	345問

### 「チーム医療」についてのコアカリ上の記載

#### 薬学教育モデルコアカリキュラム

A. 全学年を通じてヒューマンズムについて学ぶ

(2) 医療の担い手としての心がまえ

##### ＜チームワーク＞

- 1 チームワークの重要性を例示して説明できる
- 2 チームに参加し、協調的態で役割を果たす
- 3 自己の能力の限界を認識し、必要に応じて他者に援助を求める

#### 実務実習モデルコアカリキュラム

##### (I) 実務実習事前教育

(1) 事前学習を始めるにあたって

##### ＜チーム医療に注目する＞

医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を説明できる。

チーム医療における薬剤師の役割を説明できる。

自分の能力や責任範囲の限界と他の医療従事者との連携について討議する。

(2) 処方せんと調剤

医療チームの一員として調剤を正確に実施できるようになるために処方せん授受から服薬指導までの流れに関連する基本的知識・技能・態度を習得する

(6) 服薬指導と患者情報

医師、看護師などの情報の共有化の重要性を説明できる

##### (II) 病院実習

##### ＜病院調剤業務の流れ＞

3. 病院に所属する医療スタッフの職名を列挙し、その業務内容を相互に関連づけて説明できる。

##### ＜医療チームへの参加＞

医療スタッフが日常使っている専門用語を適切に使用できる。

病棟において医療チームの一員として他の医療スタッフとコミュニケーションする。

##### ＜処方支援への関与＞

治療方針決定の決定のプロセス及びその実施における薬剤師の関わりを見学し他の医療スタッフとの連携の重要性を感じとる。

適正な薬物療法の実施について、他の医療スタッフと必要な意見を交換する。

